



仙台市リサイクルシンボルマーク「メビウスちゃん」



編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課
電話 214-8226

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

こんにちは推進員さん	1 P
クリーン仙台推進員・クリーンメイト活動報告会を開催しました	2 P
仙台市環境局からのお知らせ	3 P
カセットボンベ・スプレー缶の出し方について(お知らせ)	4 P

こんにちは推進員さん

クリーン仙台推進員・クリーンメイト活動報告会を開催しました

仙台市環境局からのお知らせ

カセットボンベ・スプレー缶の出し方について(お知らせ)



こんにちは推進員さん

クリーン仙台推進員・クリーンメイト活動報告会を開催しました

仙台市環境局からのお知らせ

カセットボンベ・スプレー缶の出し方について(お知らせ)



カセットボンベ・スプレー缶 の出し方について(お知らせ)

カセットボンベや様々な用途のスプレー缶については、市内に2カ所ある資源化センターにて、素材ごとに選別しプレス機で圧縮後、リサイクル業者に引渡し再資源化されています。

ところが、穴が開いていないスプレー缶等は中身やガスが残っている可能性があり、プレス機にかけることができないため、専用の破砕機械で処理を行っています。

仙台市では、来年度に破砕処理機の増設をすることで、**中身を使い切っていたら、穴を開けずに排出できるように出し方のルールを変更する準備を進めています。**

変更の時期が決まり次第、あらためてお知らせいたしますが、それまでの間、中身を使い切り、火気のない風通しのよい屋外で穴を開けた上で集積所に出していただく現在のルールに沿った排出にご協力をお願いいたします。

中身・ガスの使い切り方について

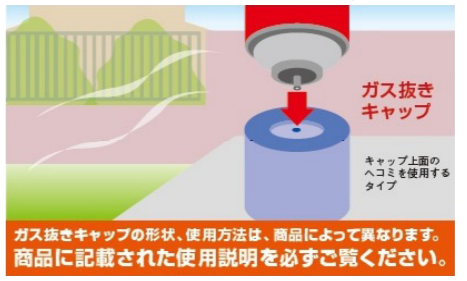
缶を振った時に「シヤカシヤカ」「チャップ

チャップ」等音が出る場合や、液体が缶の中を移動する感触がある場合は中身が残っていますので最後まで使い切りましょう。

②【重要】中身・ガスを出し切りしましょう

音や感触がなくなっても中身やガスが残っている場合があります。**必ず火気のない風通しのよい屋外**でガス抜きキャップなどを使って中身やガスを出し切りましょう。

※内容量が100グラム以下の製品には、ガス抜きキャップが付いていないので、ボタンを押して中身やガスを出し切ってください。



【注意】カセットボンベには、ガス抜きキャップが付いていませんが、ヒートパネル※付きの**カセットコンロを、使用いただくことで最後まで中身を切り切ることが出来ます。**

※カセットボンベを適度に温めることで中のガスを最後まで使い切ることが出来る装置です。(2007年4月生産分より搭載)

使い切ることができない場合や、ガス抜きキャップの使い方が分からない場合は、製品に記載の「お客様相談室」「販売先」にお問い合わせください。スプレー缶が大量にある場合や、穴を開けるのが難しいなどお困りの場合は、各区の環境事業所にご相談ください。

地道な活動が浸透して

【青葉区】中山東第一町内会

今回の「こんにちは推進員さん」は、青葉区北部の住宅地にある、中山東第一町内会の取り組みをご紹介します。

町内会長の櫻井要一さん、推進員の阿部通泰さん、本郷源六さん、武田耕一郎さんの4名でごみ集積所の見回り活動をされている様子取材させていただきました。

集積所見回り活動は、週一回の缶・びん・ペットボトルの収集日に、町内に8箇所ある集積所を巡回し、市でお願いしている排出方法で出されているかの確認やラベルやキャップが残ったままのペットボトルについては、それらをはがして潰すなどの活動を実施しております。

クリーン仙台推進員・クリーンメイトの推薦をお願いします

現在、推進員・メイトに委嘱されている皆さまの任期は、平成31年(2019年)6月30日までとなります。

7月1日以降に推進員・メイトとして活動いただける方の推薦のご依頼を町内会長(自治会等代表者)宛てに、3月上旬にお送りしましたので、5月17日(金)まで推薦書の提出をお願いしています。現任の方が引き続き活動される場合もあらためて推薦いただく必要がありますので、ご注意ください。

(問) お住まいの区の環境事業所

「(保存版)資源とごみの分け方・出し方」を3月から各区役所等で配布します

家庭から出るごみの基本的な分別方法と出し方をまとめた「(保存版)資源とごみの分け方・出し方」パンフレットを改訂しました。ごみの減量と資源物の分別・リサイクルにご協力いただくため、紙製容器包装の回収に関する情報を追加しました。

3月1日から各区役所等で配布します。ご家庭でのごみの分別作業にご活用ください。



ことにより、無理なく持続的に活動が行えるようになったとのこと。

活動の時間帯は、ちょうど小中学生の登校時間帯とも重なっており、子供達からの「おはようございます」の挨拶に笑顔で応えている皆さんの様子がとても印象的で、集積所の巡回にとどまらず、地域の子供達の見守りも兼ねた活動となっているのを感じました。

また、以前はレジ袋など、指定ごみ袋以外で出されることもあったそうですが、最近はそのようなこともなくなり、集積所にごみが散乱した場合でも、それに気づいた近所の方が掃除を行うなど、地域ぐるみでルールを守って、集積所を気持ちよく使おうという意識が根付いてきていると実感しており、それが活動の原動力になっているとのことでした。

しかし、缶・びん・ペットボトルの出し方にはまだまだ改善の余地があるとお考えのようです。地域の中には、正しい出し方がわからない方がいるようなので、そういった方々に正しい出し方をお伝えすることができればと考えており、そのための次作戦について推進員さん達を中心に検討中とのことでした。

クリーン仙台推進員・クリーンメイト活動報告会を開催しました

2月7日 太白区文化センターにおいて、クリーン仙台推進員・クリーンメイトの2年間の活動のまとめとして、地域で実践されている事例等の発表を基に意見交換を行う活動報告会を開催しました。



セミナーでは、先に環境局から、「仙台市のごみ排出量の推移」、「家庭ごみ減量の取り組み」について報告した後、「コーディネーターとしてお招きした

プランニング代表 新田 新一郎氏と各区代表5名のパネリストによる意見交換を行いました。自己紹介後に各区のパネリストから町内の課題や解決方法など、実際に活動された事例や上手に活動していくコツ、活動していくうえで感じたことなどを発表していただきました。

それぞれの活動についてコーディネーターから、頑固おやじとして町内会の牽引役を引き受け、役所とのつながりを構築し、行政と協働で美化活動をされている点が素晴らしい。(吉成町内会 矢崎滋さん)

●各人が自分たちの役割を認識し、それぞれの得意分野で力を発揮して、まとまって目的を達成したところがとてもいい。(鶴ヶ谷北町内会 設楽秀悦さん)

●推進員・メイトだけでなく、町内会全員が集積所をまわること、ごみ問題への認識が高まっている。全員が関わることになる仕組みを作ったところが素晴らしい。(保春院前町内会 金ヶ瀬和光さん)

●環境事業所務めの経験を活かし、より細かい活動を行うことで地域へフィードバックしている。行政の目線と市民の目線で地域を見ることが出来る。(西中田栗西町内会 渡辺進さん)



●作戦会議として定期的に集まり、お茶を飲みながら、いろいろな話題の中から、地域の課題を洗い出し、問題解決している。(松陵三丁目町内会 山口恵子さん)

ただきました。展示スペースでは、推進員、メイトの皆様が作成された町内会だよりや啓発用ポスターなどを展示したほか、ごみの堆肥化やペットボトルの正しい処分の方法などの啓発活動をされている市民団体のみなさんによる展示物の紹介などを見学いただきました。来場された方々から、「それぞれのアイディアを実践しているところが素晴らしい」「パネリストの情熱が感じられた」「町内へ持ち帰って、活動の参考にしたい」などの感想が聞かれました。



仙台市環境局 かがのめ知らせ

◆環境施設見学会(ワケルくんバス)ご利用ください

町内会の皆さままで、バスに乗って環境施設を見学し、ごみの減量やリサイクルなど、環境について考えてみませんか。

- 対象 町内会、社会学級、子供会などの20名以上40名以内の団体
- 運行日：月曜日～金曜日(祝休日、年末年始を除く)
- 時間：10時～15時で希望する時間
- 見学場所：ごみ焼却工場、資源化センター、リサイクルプラザ ほか
- 利用料：無料 昼食が必要な場合は各自持参
- 見学先、運行日程、時間など、詳しくはお問い合わせください。
- 問：家庭ごみ減量課214-8229 (利用日の6か月前から電話で受付)

◆家庭から出る生ごみを減らしましょう

生ごみ処理機等購入に補助金が出ます。購入前に、まず申請！
申請受付期間：平成31年4月1日

平成32年1月20日

■補助金の内容

- 【たい肥化容器(屋外型・屋内型)】
- 補助額：1基につき2千円(1世帯2基まで)
- 補助基数：250基(先着)
- 【家庭用電気式生ごみ処理機】
- 補助額：購入金額(税込み)の5分の3(上限3万円) 1世帯1台
- 補助基数：250台(先着)
- 申込方法：市役所本庁舎市民のへや、各区役所総合案内、市民センターなどで配布する申請書を郵送
- 問・申：家庭ごみ減量課214-8229

◆平成31年度せん定枝資源化モデル事業を実施します

家庭から出るせん定枝や幹をチップ化し、資源循環に取り組みます。
電話受付期間：5月1日(水)～7月31日(水)
①戸別収集：粗大ごみ受付センター(716-5300)へ申込み(土日はお休みです)
②自己搬入：搬入希望日の2日前(土日祝休日を除く)までに、お住

まいの区の環境事業所へ申込み。搬入場所などを案内します。

■料金等：戸別収集、自己搬入ともに無料、数量制限なし

問：廃棄物企画課214-8230

◆せんだい環境学習館・たまきさんサロン「サロン講座のご案内」

「DIYで快適な暮らし」エネルギーをかしこく使おう」
■日時：4月20日(土)10時～12時
■内容：家庭内のエネルギーを賢く使う工夫や、夏は涼しく冬は暖かい快適な生活を送るためのDIY活用術を習得します。

講師：東北大学大学院工学研究科 教授 中田 俊彦 氏

■定員：42人(小学生以下は保護者同伴)※抽選(当選者のみ4/13までご連絡)

■申込み方法：はがき、ファクスまたはメールに講座名、氏名、住所、電話番号、年齢を記入して4月9日までに申し込みください。
■申・問：たまきさんサロン
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 電話214-1233
ファクス393-5038

◆緑のカーテンを育てて夏を涼しく過ごしてみませんか

町内会等の団体で緑のカーテン設置に取り組みたい方に種子を無料配布します。はがきまたはファクスに、団体名、送付先、電話番号、左記①②の希望数を記入しお申込みください。(なかなり次第終了します)
①ゴーヤ(1袋5粒入り)
②西洋朝顔(1袋10粒入り)
問：環境共生課 仙台市青葉区二丁目6番12号 電話214-0007
ファクス214-0580

環境事業所の電話番号

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300

Eメール tamaki3salon@city.sendai.jp